

## 開設の目的・概要 等

データセンターの創設とデータの利活用により本学臨床研究の活性化を狙う。加えて、受託研究の獲得とデータ分析の有償提供により、本学の経済面での安定に寄与する。本学内臨床研究、多施設（国際）共同研究、受託臨床研究などに資する臨床データウェアハウスを設計し、本学内に散在する各種臨床データを抽出・統合した臨床データウェアハウスを構築する。また、このようなデータウェアハウスを活用したデータマネジメントのあり方を検討し、本学内組織における実装を目指す。

区分	番号	学位論文	著者名	論文名	掲載誌名, 掲載年; 巻(号): ページ番号	国際共同
英文原著	1		TOSHIKI KOGAI, KAZUTOSHI FUJIBAYASHI, NAOTAKE YANAGISAWA, NOBUYUKI FUKUI, AKIHIKO TAKAHASHI, TOSHIO NAITO, RYOHEI KUWATSURU, HIROTAKE WATADA	Impact on Diabetes Management Due to Social Participation Restrictions Associated with the COVID-19 Pandemic	Juntendo Medical Journal, 2021 ; 67(4) : 333-337,	
英文原著	2		Toshio Naito, Kazutoshi Fujibayashi, Hirotake Mori, Shinichi Fukushima, Mayumi Yuda, Nobuyuki Fukui, Shotaro Tsukamoto, Mai Suzuki, Keiko Goto-Hirano, Ryohei Kuwatsuru	Delayed diagnosis of human immunodeficiency virus infection in people diagnosed with syphilis: A nationwide cohort study from 2011 to 2018 in Japan	Journal of Infection and Chemotherapy, 2021 ; 15;S1341-321X(21)00275-0	
英文原著	3		Toshio Naito, Mai Suzuki, Shinichi Fukushima, Mayumi Yuda, Nobuyuki Fukui, Shotaro Tsukamoto, Kazutoshi Fujibayashi, Keiko Goto-Hirano, Ryohei Kuwatsuru	Comorbidities and co-medications among 28 089 people living with HIV: A nationwide cohort study from 2009 to 2019 in Japan	HIV Medicine, 2021 ; 00:1-9.	
区分	番号		発表者名	発表タイトル（題目・演題・課題等）	学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1		北村登、武井正美、田村直人、河本敏雄、田巻弘道、木戸口元気、立石睦人、木村万希子、小池隆夫、谷村一秀、持田勇一、針金健吾	Golimumabとmethotrexate (MTX)を併用した関節リウマチ(RA)患者におけるMTX減量に関する因子探索	日本リウマチ学会総会・学術集会, WEBライブ配信のみで開催, 2021年4月26日(月)～4月28日(水)	
国内学会発表	2		北村絵里	女性アスリートに対する連続投与可能な低用量エストロゲン・プロゲステロン配合薬投与による治療効果と副作用の推移	日本女性医学学会学術集会, ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター/イベントラボ, 現地開催: 2021年11月6日(土)・7日(日)・WEB開催: 2021年11月6日(土)～19日(金)	